

<input type="checkbox"/>	_____

次の【記述】中の①から⑧までの（ ）内に後記の【語句群】から適切な語句を入れた場合、（ ）内に入るものの組合せとして正しいものは、後記1から5までのうちどれか。

【記述】

「犯罪の終了時期に關し、各犯罪は即成犯、(①) 及び (②) に區別される。殺人罪は即成犯であり、(③) は (①) であり、(④) は (②) である。ある犯罪が (①) か (②) かの區別は、(⑤) の起算時期や (⑥) の成立範囲に影響があるとされる。この區別の基準について、實行行為を基準にする考え方と法益侵害を基準にする考え方がある。被害者を部屋に閉じ込めた後、行為者が眠ってしまった監禁の事例について、前者の考え方は、被害者を閉じ込めたまま解放しないことを實行行為と評価して継続犯であるとするのに対し、後者の考え方は、(⑦) を理由に継続犯であるとする。さらに、前者の考え方は、傷害罪について、一回の暴行によって傷害を発生させたような一般的な態様の場合は、(①) とするが、(⑧) のような特別な態様の場合は、(②) であるとする。」

【語句群】

- | | | | |
|--|----------------|---------|--------|
| a. 繼続犯 | b. 狀態犯 | c. 窃盜罪 | d. 監禁罪 |
| e. 刑の時効 | f. 公訴時効 | g. 間接正犯 | h. 共犯 |
| i. 不作為による實行行為が継続していること | | | |
| j. 被害者の移動の自由が刻々と侵害されていること | | | |
| k. 身体を動かすたびに傷害を負うように被害者の身体をきつく縛り継続的に傷害を与えた事例 | | | |
| 1. 刃物で被害者の手の指を切断し被害者の物をつかむ機能を永続的に侵害した事例 | | | |
| 1. ① b ③ c ⑤ e | 2. ① a ④ d ⑥ g | | |
| 3. ② a ④ c ⑦ i | 4. ③ c ⑦ j ⑧ k | | |
| 5. ⑤ f ⑥ h ⑧ l | | | |

「犯罪の終了時期に關し、各犯罪は即成犯、(① b. 狀態犯) 及び (② a. 繼続犯) に區別される。殺人罪は即成犯であり、(③ c. 窃盜罪) は (① b. 狀態犯) であり、(④ d. 監禁罪) は (② a. 繼続犯) である。ある犯罪が (① b. 狀態犯) か (② a. 繼続犯) かの區別は、(⑤ f. 公訴時効) の起算時期や (⑥ h. 共犯) の成立範囲に影響があるとされる。この區別の基準について、實行行為を基準にする考え方と法益侵害を基準にする考え方がある。被害者を部屋に閉じ込めた後、行為者が眠ってしまった監禁の事例について、前者の考え方は、被害者を閉じ込めたまま解放しないことを實行行為と評価して継続犯であるとするのに対し、後者の考え方は、(⑦ j. 被害者の移動の自由が刻々と侵害されていること) を理由に継続犯であるとする。さらに、前者の考え方は、傷害罪について、一回の暴行によって傷害を発生させたような一般的な態様の場合は、(① b. 狀態犯) とするが、(⑧ k. 身体を動かすたびに傷害を負うように被害者の身体をきつく縛り継続的に傷害を与えた事例) のような特別な態様の場合は、(② a. 繼続犯) であるとする。」

⇒ 2026 短答知識完成講座 I・18 頁